



福生市制施行50周年
記念ロゴマーク

〈発行〉福生市町会長協議会 会長 清水 喜久雄

今号の主な見出し

- 1面・2面 町会・自治会紹介
- 3面 コロナ時代の生活習慣
- 4面 地域だより

支えあう 助けあう 地域

町会・自治会が支える自助・共助・公助

支えあい

- ◆ 安全・安心を支える活動（防犯パトロール、防災訓練など）
- ◆ 子どもたちの健全育成に取り組む活動（挨拶運動、声かけ運動など）
- ◆ まちを美しくする活動（町内清掃、花いっぱい運動など）



うるおい

- ◆ 地域住民の健康づくりを進める活動（運動会、ラジオ体操など）
- ◆ 福祉に関する活動（敬老会、募金活動など）

にぎわい

- ◆ イベント活動（夏祭り、盆踊り、もちつき大会など）

3つの町会・自治会をご紹介します



応急救護研修（鍋二町会）

平成7年の阪神・淡路大震災、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震、令和元年の豪雨被災

ます。平成7年の阪神・淡路大震災、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震、令和元年の豪雨被災、または都内の防災センターの見学、実地体験等を行ったりしています。また、福生市消防団第二分団の皆さんに協力していただき、AEDの使い方、スタンドパイプの組み立て方の指導をしていただいたり、翌年には大型バスにて近隣の県、

支えあい

**鍋二町会の
防災活動**

① 鍋ヶ谷戸第二町会
会長 森田 哲哉

害、こうした災害を経験するたびに防災対策や対応の重要性を思い知らされます。

数年のうちに来るであろうと言われている東海地震を考えると不安にもなりますが、行政による支援《公助》も限界があり、自分の命は自分で守る《自助》、自分の地域は皆で守る《共助》が重要だと再認識しています。

高齢化が進み、一人住まいの方も多くなった昨今ではありますが、自主防災組織や地域住民が力を合わせ、支え合い、助け合える町会を目指しています。



防災視察研修（鍋二町会）

にぎわい

連帯感生む

八雲神社祭礼

② 本町中央町会

会長 古谷 明善

本町中央町会は、福生駅西口の駅前通りを中心とした商業地域にあります。福生市の商業中心地であるとはいえ、現状は市内全32町会の中でも会員世帯数は90と一番小さな町会ですが、大人と子ども、互いが支え合い、一つの伝統文化行事を楽しみながら行っています。

今回ご紹介させて頂く行事は、一年の中でも最大の手間と予算を掛けた「八雲神社祭礼」（お神輿の祭り）です。この行事は、七月最終の土曜と日曜日に開催されます。お祭りの見どころと言えば当町会にある西口駅前ロータリーを交通規制して行われる、山車と神輿が集結しての迫力満点な競合いです。当町会のお祭りの活動は6月の町内の清掃から始まり、7月の当日に向かって行われます。普通の町会ですと



お神輿（本町中央町会）

このお祭り一つに集中して準備に取り掛かれると思います。しかし当町会は、更にもう一つ別の、四日間も続く大きなイベントが翌週に控えており、特に商店やテナントさん会員の悩みのタネとなっていました。

そこで町会と商店街で相談した結果、お祭りの準備を商店街の事務所の会議室でやって貰い、ついでに地域の子ども達も巻き込んで七夕飾り制作のお手伝いや体験もして貰うのはどうだろうかという事になり、さっそく神酒所の飾りなどのお祭りの準備の傍ら、七夕飾り制作の体験が始まる事になりました。結果は大成功で、その経験は子ども達にとっても、夏休みの貴重な体験となると共に、地域の文化継承にも繋がります。町会に連帯感が生まれる事となりました。こ

にぎわい

協力の和

③ 永田町会

会長 細谷 満広

の様に、神輿のお祭りは、たったの二日間ですけれども、町会や商店街の方や、地域の子ども達が2ヶ月前から少しずつ支え合う場所作りをする事で、支え合って生きている事を再認識出来ています。

永友会・永和会・永楽会・永志会・永陸会。これらは、永田町会でそれぞれの年代ごとに集まる有志の会（設立順）です。年齢と共に発展解消した会もありますが、一番若い永陸会は、平成31年に設立された20代後半の若者が集まる会です。また、女性だけで組織する永遠の会もあります。

永田はやし連など子どもから大人までが集まる団体もありますが、永田町会では、これら団体の協力により様々な事業が行われています。例えば、盆踊りの屋台では、永遠の会は焼きそば・永和会はヨーヨー釣り・永楽会は金魚すくいなど、それぞれが盆踊りに彩りを添えてくれます。全世帯に配



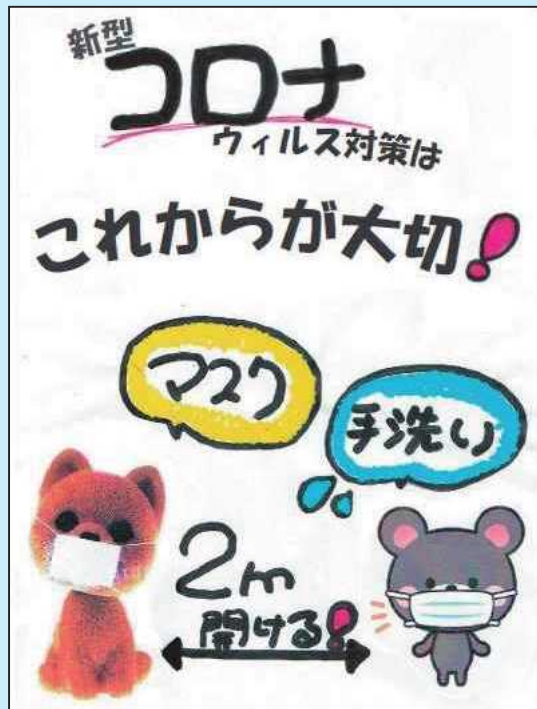
られた屋台券を持って集まる、子どもから大人までが盆踊り・屋台を大いに楽しみます。

また、祭礼前の日曜日には、樽神輿の組み立てに永楽会・永志会・永睦会が、また提灯の花作りに子ども会が中心となり、町会員が一致団結して準備をします。そして、昼食には、永和会により恒例の天ぷら付き「流しそうめん」が振る舞われます。「いただきます」の声と共に、子どもから順にその味を楽しみます。

この後、どんな「永〇会」ができるのでしょうか。これからも協力・交流・親睦の永田町会を目指していきます。

身につけよう！コロナ時代の生活習慣

原ヶ谷戸町会ポスター



町会・自治会の新しい活動スタイル

新型コロナウイルス感染症の拡大により、各町会・自治会では、総会の書面開催や夏祭りの中止といった、これまでにない対応を余儀なくされました。

町会・自治会では、新型コロナウイルス感染症から地域の皆さんを守るために、あるいは守りながらどのような活動ができるかを考えています。これまでの町会・自治会の活動スタイルを見直し、3密の回避やマスク着用の呼びかけ等の感染症対策を徹底して行事を実施するなど、新しい生活様式に沿った活動を模索し、住民同士の交流が図れるよう活動していきます。

原ヶ谷戸町会のポスターにもあるように、新型コロナウイルス感染症対策はこれからが大切です。マスクの着用やこまめな手洗い、3密の回避等が有効ですので、引き続き対策をして、健康な生活が送れるように留意しましょう。

地域だより

町会・自治会による 市制施行50周年事業

福生市は本年7月1日に市制施行50周年を迎えました。祝賀気運を醸成するために、市制施行50周年事業として令和2年1月・2月に町会・自治会による防災研修会（鍋ヶ谷戸第二町会、加美町会）及びもちつき大会（鍋ヶ谷戸第二町会）を実施しました。



加美町会



鍋二町会

南町会が朝市を開催

南町会が感染症対策を実施しながら、9月27日(日)に朝市を開催しました。地元農業者の方が生産したじゃがいも・なす・落花生といたった新鮮な野菜が並び、盛況のうち完売となりました。地域のにぎわいを生み出す取り組みとなっています。



南町会

加入促進事業を 実施しました

福生市町会長協議会ではコロナ禍でも地域住民を感染症から守りつつ行える勧誘活動として、「あなたも地域の一員です！町会・自治会に加入しましょう！」と記載

した加入促進マグネットシートを作成し、市内を巡回するごみ収集車や幼稚園バスに貼り付けました。ぜひ、町会・自治会へのご加入をお願いします。



加入促進マグネットシート

広告掲載スペース

広告掲載スペース

会報「ちいき」編集委員

編集委員長 志茂 信吾

編集委員 関口 久剛・小林 陽一

島崎 泰二・青海 俊伯

あなたも地域の一員です！ 町会・自治会に加入しましょう！

町会・自治会は地域におけるコミュニティ形成の基礎として、重要な役割を担っています。町会・自治会の社会貢献活動や、もしもの時の共助のために、あなたの力が必要です。

ご加入は、お住いの地域の町会・自治会へご連絡ください。わからない場合は、福生市協働推進課（☎551-1590）までお問い合わせください。